

# 「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【中央区】

## 〈開催概要〉

日 時：令和3年11月2日（火） 18：30～20：00

会 場：与野本町コミュニティセンター 多目的ルーム（大）

参加者：12名（傍聴者0名）

市出席者：市長、都市経営戦略部

事務局：市長公室広聴課

開催テーマ：将来を見据え、さいたま市のまちづくりや市役所移転について考えよう

### 参加者との意見交換

#### ●参加者

##### ＜発言1＞

現庁舎地利用について、意見を言わせていただきたいと思います。

先ほども市長の説明でいろいろな施設がありましたが、私としては、防災公園としての機能を兼ねた健康増進公園を希望します。健康寿命延伸のため、安心して歩けるウォーキングコースや安全な運動器具を設置したりして、市民の健康を増進させるような公園をつくってほしいです。また、消防署や警察が隣接しているので、災害時には防災公園としての役割も担ってほしいです。

例えば断水時の水の供給源として地下に貯水池をつくったり、下水道の方に直結型のマンホールを設置して、いざというときには災害時用のトイレにするなどいろいろアイデアはあると思います。コロナ禍で病床不足が問題になっていますが、今後も温暖化の影響で恐らくいろいろなウイルスが発生することは考えられます。また、今いろいろな自然災害が起きているので、公園内にイベントスペースを設置して、先ほど言われましたPark-PFIを利用した公民連携で、普段はイベントで維持費を管理して、災害時は酸素ステーションや簡易個室ベッドにするなど、緊急時対応型のイベントスペースとすることが理想だと思っています。

##### ＜発言2＞

現庁舎の利用について、私も防災関係についてお話しします。東京都では防災体験ができる施設は4か所あるのですが、埼玉県の防災学習センターは市内にはありません。私は、アクセスのいい現庁舎の跡地に、体験型の防災センターをつくっていただければと思っています。中央区消防署が移転するので、そこに防災センターができるかと期待をしていたのですが、そういう情報もありませんでした。

それと、先ほどもお話がありましたように、災害が起こったときに生活インフラが回復するまで、どのようなものが必要になるかということが体験できれば、防災意識を皆さんが持つことができているのではないかと思います。

新庁舎については、さいたま新都心駅から新庁舎までずっとワンフロアで移動できるようなルートをつくっていただきたいと思います。特に高齢者は足元が弱くなってくるので、上がったたり下りたりしなくても新庁舎に行けるように整備していただければ、皆さん行けると

思います。

また、新庁舎の上の階に商業施設を誘致し、家族が集まれるようなレストランなどがあれば、市民も行きやすくなるのではないかと考えています。

### <発言3>

私も後期高齢者なので、先行き心配なことで述べさせていただきたいと思います。

さいたま市が誕生したときに、残念ながら私、さいたま市にいなかったのです。ですから、取決めで新都心に新庁舎をつくるという話は私は知らなかったのです。その後、この取決めの後に大きな状況の変化がありました。それは東日本大震災です。今後心配していることは、この地震が起きたのは取決めの後にもかかわらず、新都心にこだわっているということです。もしも万が一あの辺で大停電が起こったときには、国の機関とともにさいたま市役所も巻き添えになるわけです。

あの地震のあと、新都心からもっと離れたところに新たに換えようという案が何で出てこないのだろうと思っています。日本の公共事業はいつも一度決めたら換えられないというのがありますので、恐らく市の方もそういう傾向があったのかもしれませんが。

リスク低減を考えると、さいたま新都心からできるだけ離れた方がいいと思います。例えば大宮駅の西口にある桜木駐車場とか、現庁舎を壊してそこに新しくつくるという手もあります。ちなみに今の庁舎の場所は、京浜東北線、武蔵野線、埼京線に囲まれたちょうど真ん中にあります。

それから、次に心配なのがお金の件です。市債の残高が4,825億円あります。これを市民1人当たりになると34万8,000円だそうです。これ市のホームページで見ました。私の子ども、孫はさいたま市にいますが、将来、これを残したくありません。

また、現庁舎の跡地に施設をつくるのであれば、その場所に新庁舎と総合施設をあわせてつくれば、箱物は1つで済むはずです。

### <発言4>

先ほどの御意見が私も全くそのとおりだなと思っておりまして、まず新庁舎の場所が新都心と10年以上前に決めたことを、そのままなぜ考え直さないのだというのが1つです。それが便利だからとおっしゃられているようなのですが、本当にそれだけでいいのでしょうか。

私はIT関係の仕事をしていまして、最近会社に行かなくても仕事ができますし、今後そういう社会になってくると思いますので、そういうのを考えた方がよいのではないのでしょうか。あとは新しく庁舎の床面積も、民間との複合施設という話もあるそうですが、窓口業務がないのであれば、別に便利なところになくてもいいかなと思いますし、テレワークができれば面積も半分でもいいのではないのかと思いました。

現庁舎の跡地については、どうせなら100年、200年もつようなサグラダ・ファミリアみたいなものをつくることを考えたらどうだろうかと思っています。

### <発言5>

庁舎跡地が自宅からも近いので、非常に興味がある問題です。テーマ説明資料に書いてあるように文教都市を象徴する地域ということですが、文教都市というのは、一生涯学び続ける場であるということだと思います。

特に埼玉県から日本の首相が出ていないので、そういう日本のリーダーを育てていくような施設をつくってもらいたいと思います。

そのためには人づくりに徹するという一方で、一流のものに触れ合う場となってほしいです。栄養を摂ってなおかつ体を鍛えて、みんなで勉強して、対話をして、外国人と交流する、何をするにも自然とモチベーションが上がるような施設をつくってもらいたいと思います。

栄養を摂るというのも、例えば埼玉の食材を使い、ちゃんこ鍋みたいなものにするなど、とにかく栄養が摂れて食育につながるようなものがあつたらいいなと思います。

#### <発言6>

3つ意見があります。

先ほどのテーマ説明では、市全体の行政の機能強化という部分がはっきりと見えません。市役所を移転するということは、耐用年数とかいろいろな問題があると思いますが、それは遅かれ早かれ来るものだと思うのですが、市民にとって窓口は基本的に区役所なので、市役所の移転だけじゃなくて、区役所との関連づけについて、どうお考えになっているのかということをもっと伺いたいのが1つです。例えば浦和区に住んでいる人でも、現実的には浦和区役所に行くよりは中央区役所に行った方が近いという方もいると思います。ほかの区でもあると思います。

あと、防災面に関して、20階建てという高層の建物については疑問があります。この間も地震がありまして、エレベーターが止まったりすると非常に使い勝手が悪くなりますし、あまりコストがかからないようコンパクトにして、極力費用がかからず、かつ防災面でも安全だということが必要なのではないのかというのが2つ目です。

3つ目なのですが、これは具体的な数字をこれから出していただければいいと思うのですが、新しい市役所に移転して、市の職員の方たちは、今の市役所からそのまま移るのでしょうか。例えばフリーアドレスだとか在宅勤務だとかいろいろなものを含めて10年後はかなり変わると思うので、その辺のビジョンも示していただければと思います。

#### <発言7>

区役所の窓口についてだけ聞いてもいいですか。今の方がおっしゃられたように、中央区役所に浦和区の人が行ってはいけないのですか。

#### ◆市長

##### >>発言7

大丈夫です。例えば、桜区と南区で言うと、南区役所が武蔵浦和駅の前であって、桜区の方も武蔵浦和駅を使うケースが多いものですから、桜区の方も南区役所にはよくお越しいただいています。

##### >>発言1

現庁舎地の利活用について、防災の機能を持った健康増進公園をつくってはどうかとの御提案をいただきました。機能面では、地下に水を貯められたり、マンホール型のトイレを設置したり、感染症などのときにも対応できるような施設にしてほしいということでした。また、Park-PFIの活用についても御提案をいただきました。

災害のときには防災公園としても活用できる健康増進公園をつくるということは、非常に重要な視点であろうと思います。

##### >>発言2

防災体験ができる防災センターをつくってはどうかという御提案でした。

特に最近では地震や台風といった自然災害が多く、一昨年は、台風19号が来てさいたま市にも大きな被害がありました。そういった部分から防災への対応がしっかり取れるものをつくってはどうかという御提案でした。

また、駅から新庁舎へワンフロアで行けるようにしてほしいとの御提案もいただきました。こういったアクセス面も大変重要な視点だと思います。

##### >>発言3

さいたま市が誕生した頃の取決めをそのまま実施しなくてもいいのではないかという御意見や、新都心だとかえってリスクが高まるのではないかという御意見を頂戴しました。またコスト面で、箱物をつくるとしても1つでいいのではないかという御提案、今の場所で作るという案もあるのではないかという御意見もいただきました。

移転先を選定した理由として、1つは、さいたま新都心地区周辺が望ましいという意見を踏まえてということが合併協定書に書かれています。これは20年前のことで、もちろんそういった部分も尊重しています。それから、先ほど御説明申し上げました審議会においても、様々な環境の変化も踏まえて御審議をいただいて、新都心周辺が望ましいという結論になりました。

その上で私たちもそれらを尊重しながら、また私たちなりにこれからのまちづくりも含めて検討し、さいたま新都心が望ましいという結論になったということです。

現庁舎地での建替えについては、もちろん現時点で100%不可能だということは申し上げられませんが、先般も耐震工事をしたときにも資材置き場などで駐車場のスペースがかなり取られまして、現庁舎地で建て替えるとすると、恐らく仮設の庁舎を建設する必要が出てきて、かなりコストがかかることとなります。

では空いているところに仮設の庁舎ではなく新庁舎をつくったらどうかという御意見もあるかもしれません。しかし、この場合、どこかに駐車場を用意する必要があるとか、大型の重機が入ってくることなどを考慮すると、技術的にも課題がかなり多いと認識しているところです。

また、つくるに当たりましては、財政的に大丈夫なのかという御心配もありました。現在、庁舎の整備に必要な経費の財源に充てるため、さいたま市庁舎整備基金を設置しているので、それを活用し、残りは市債を発行する形になるのだろうと現時点では想定をしています。

さいたま市の市債としては先ほど御案内ありました4,825億円、1人当たり34万8,000円ということですが、地方自治体の市債は基本的にはインフラが中心です。例えば道路は1年で使うわけではなくて数年にわたって使うということで、1年だけで使うと、その年にそこに暮らしている人たちだけが負担を負ってしまうという結果になりますので、それを長期間で分割をしながら負担をしていくという考え方に基づいてやっていますので、基本的には国でやっている赤字国債みたいなものとは全く違います。さいたま市は現状としては政令指定都市で1人当たりの市債残高としては2番目に少ないという状況で、市債については十分管理をしながら進めているということも、併せてお知らせをさせていただければと思います。

ただ、もちろん多くの費用がかかる事業であることは認識しています。先ほども申し上げましたとおり、15年後にはどこかに庁舎をつくらなくてはなりません。現庁舎地につくるにはなかなか厳しく、相当なお金がかかってしまうという状況がある中で、私たちとしてはこれからのまちづくりや、防災、災害対策なども含めて新都心という結論を出させていただいています。

特に新都心地区は広域防災拠点という位置づけもございます。ですから、ほかの場所よりも、防災に対応できるような投資が既に行われているという状況もありますので、ほかの地区でそれを整備するよりはコストは低くて済むというところもあるかと思えます。

ただ、箱物が増えるということについて懸念をされるということについては、私たちも十分考慮しなくてはなりません。私たちも箱物については、公共施設マネジメント計画をつくっておりまして、基本的にはこれ以上、公共施設の面積を増やさないことを前提として複合化をしたり、建替えしたり、予防保全とってできるだけ建物を長寿命化して、使えるものは80年か、それ以上使うことを基本方針としています。

## >> 発言 4

10年以上前の取決めのまま新都心への移転で大丈夫なのだろうかというお話や、本庁舎

は今の床面積の規模でいいのか、もっとデジタル化やテレワークが進むと半分でいいんじゃないかといった御意見でした。

10年後、またはそれ以降先になったときに、デジタル化の進展でどのぐらいの面積が必要になるかは、流動的な部分があると思っています。私たちとしては、そういった変化にも十分耐えられるような形で整備をしていこうと考えております。現状は基本的な人数とおよそ必要な面積をもとに算出をしているという状況ですが、今後変化が起こってくる可能性は十分にあると思います。

ただ、現状として市の場合は、窓口で直接市民の皆さんや、事業者の皆さんと対応しなくてはならない業務も多くありまして、県庁や国とは少し状況が違うというのもまた事実です。将来的には、もう少し少ないスペースで済むかもしれませんが、もう一方で、区役所はスペースに余裕がない状況です。区役所も防災を担っていますが、避難をすとかいろいろの付加的な要素が入ってきた場合には、なかなか区役所だけでは対応できないといった状況もありますので、防災的な部分も踏まえて現状としてはこのぐらいの大きさをベースとして考えているということで、御理解をいただきたいと思います。

それから、現庁舎の跡地については100年から200年もつような、そういった発想でやるべきだというお話がありました。長期間使えるような、活用できるような機能を持ったものにしていくというのは、大変重要な視点だと思いますので、そういったことも踏まえて考えていきたいと思っています。

#### >> 発言5

文教都市を象徴するような学び続けられる場、日本のリーダーを育てていくような施設、また、外国人とも交流ができるような施設をつくるべきだという御意見を頂戴しました。

私たちも、文教都市にふさわしいシンボリックな場所にしていきたいと思っています。さいたま市にお住いの皆さん、特に浦和区周辺の皆さんは教育ということを非常に大切にされていると思っていますので、その象徴的な場所にしていきたいと思っています。

#### >> 発言6

区役所との関係づけについてお話がありました。こちらに関しては、多くのサービスは浦和区役所でも中央区役所でも、区役所を超えても可能です。

それから、防災面を考えると、高い建物ではどうなのかという御意見もありました。そして、できるだけコンパクトな建物の方がいいのではないかと御意見も頂戴しました。

私たちも豪華なものであるとか、必要以上に大きなものをつくることは考えていませんが、ただもう一方で、少し予期せぬことが起こったときのバックアップ機能ということが本庁舎に求められてくるのではないかと御意見も頂戴していますので、そういったことも意識する必要があるかと思っています。それがどのぐらいの規模がいいのかということについては、また今後引き続き議論をしっかりと深めていきたいと思っています。

それから、働き方として、フリーアドレスなどいろいろな形があるのではないかと御意見も頂戴していますが、おっしゃるとおりそういう形もあると思います。今後の働き方なども踏まえながら引き続き検討していきたいと思っています。

現状としてはまだ基本構想という段階ですので、一つの目安のようなものになっていますが、時代によってまた働き方が変わる可能性がありますので、変わっても対応ができる形が望ましいのではないかと考えているところです。

#### ●参加者

#### < 発言8 >

まず、新庁舎について、新都心の方に移転をする予定だという前提でのお話なのですが、東日本大震災が発生したときに、多くの帰宅困難者が出ました。このようなことが再度起こる可能性も当然あると思いますので、駅から近い場所ですし、さいたま新都心は多くの



方が仕事をしている場所でもありますので、是非、帰宅困難者の受入れができるような機能を有していただければと思います。

例えば冬の時期に、床にそのまま座っているのもなかなかつらいものがありますから、その辺りの素材を考えていただくとか、トイレなど臨時に多く必要になるとも思いますので、ある程度の配管を準備し、すぐに設置ができるような場所をつくっておくとか、いろいろアイデアはあろうかと思しますので、是非、御検討いただければと思います。

あと、現庁舎の方に市民ギャラリーがあると思うのですが、市役所の敷地の中にひときわ、役所らしからぬといいますか、私は非常にいい建物だなと思いますので、周りを公園とかいろいろ活用するのはいいと思うのですが、是非市民ギャラリーの方を少し拡張していただいて、市民の方がいろいろ使えるような形にいただき、残していただいた方がいいのかなと思います。

### <発言9>

市役所についてと、新庁舎整備についてまとめてお話しできればと思います。

先ほどからお話がありましたように、アフターコロナのオフィスの在り方は、最低限のバックアップを用いながら再検討する必要があるかもしれないと思っています。市民の大事な情報を、機密保持を担保しながら在宅勤務ができたり、市の関連施設などで仕事ができるなど、新たな市役所のスタイルをさいたま市から全国に発信できたらいいなと思いました。

また、区役所の近くに住んでいて思うのですが、本庁舎と各区役所の移動が、自家用車で少人数というのをよく見受けます。例えばシェアサイクルやシャトルバスを使いながら環境に優しい移動をすることで、アフターコロナのスマート都市づくりを、さいたま市が全国的に先駆けてできればいいなと思いました。

また、場所に関してはさいたま市の郊外ですと、荒川の氾濫ですとか、沼地も非常に多いので、地盤の固くない場所も多いのかなと思います。新都心周辺は大宮台地の上であり、国の機関、国土交通省などもあり、巨大災害のリスクが一番少ない場所であると思うので、さいたま新都心エリアが最適かなと思いました。

### <発言10>

新庁舎の整備についてと、現庁舎地の利活用についてお話ししたいと思います。

まず、新庁舎の整備についてなのですが、行政施設、ハローワークですとか年金事務所や社会保険事務所など、そういった関係の行政施設をまとめて配置させた方がいいのではないかなと、利便性の面から思います。

あと、市役所の窓口は非常に煩雑といいますか、細かく分かれていまして非常にわかりづらいというのがありますので、新しくできる市役所についてはもう少し簡便な表示にいただければと思います。

また、現庁舎地の利活用についてなのですが、防災関係で利用するのがいいんじゃないかなと思っていて、災害時の帰宅困難な方の救済スペースとして利用したり、緊急避難所として使用したり、災害時の備蓄品とかの貯蔵もできる施設ができたらいいのかなと思います。

もう一つ、災害時以外には、テレワークができるようなスペースとして活用できたらいいのではないかなと思います。

### <発言11>

私は、新庁舎整備についてお話しさせていただきたいと思います。

私はまだ高校生なので、市役所でどんなことをやっているかよく知らないのですが、市役所でやっていることについて考えたときにすぐに出たものが外国人の手続についてです。外国人が手続をするにあたり、どんなことが役に立つかということ、アクセスのよさです。

さいたま新都心にはさいたまスーパーアリーナやコクーンシティがあって、私もよく行かせてもらっているのですが、そこを外国の方が活用しているのをよく見るので、新都心に新庁舎が置いてあった方がいいと思います。

また、手続きをしやすい環境として、英語とか多言語に対応した看板や設備などがあった方がいいし、住居に困っている外国人への提供スペースがあった方がいいと思いました。

まとめますと、今住んでいる外国人や、これから住む外国人にとって住みやすい、使いやすい市役所があった方がいいと思います。

### <発言12>

このような機会を与えていただいて、初めて真剣にさいたま市について考えるようになりました。先ほどリーダー教育が必要とおっしゃる方がおられましたが、私も60を過ぎて、次の世代のことを考えるようになりました。私が若いころは世界のトップを行っていた日本だったのですが、今はぐっと下がってしまいました。なので、この日本に対して責任を持てるような人材の育成を、もう一度真剣に考えて取り組んでいかないとならない時期なのではないかなと思います。リーダー教育、吹きこぼれの対策をもっと真剣になってやっていく方がさいたま市のためにもなるし、埼玉県、そして日本のために貢献してやっていきたいという若者を育てるようなさいたま市にさせていただけたらなと思いました。

### <発言13>

市長からは先ほど、区役所はある程度、区を跨いで相互乗り入れできますよというお話があったのですが、私は障害の当事者なのですが、自分の住んでいる区役所に行かないとできないことがかなり多いです。もちろん住民票の写しとか戸籍抄本とかそういうのは区役所だけでなく、例えば与野でいけば東口に市民の窓口もあったりして、そういった一般的なサービスはかなり便宜を図っていただいているのですが、個別の事案になると、どうしても自分の住んでいる区役所でないと出来ない手続きがまだまだ多いと思いますので、今すぐというわけではないですが、そこを是非、今後相互乗り入れできるような形をしていただければいいなということで発言しました。

あと、身近なところでは、この間、選挙がありました。期日前投票は基本的に自分の住んでいる区役所でしかできないので、それも早めに変えていただければ、非常にありがたいなと思います。

### <発言14>

先ほどは、さいたま市の存在感アップのためということで、浦和の庁舎跡地に日本のリーダーを育てるような環境をつくるといった発言をしました。浦和は、県外から埼玉を訪れたとしても、素通りする地域だと思います。

テーマ説明資料にも県都の誇りと書いてありますが、県庁所在地なので、埼玉県と協力してオール埼玉の施設をつくって、例えば埼玉県内のいろいろな市のおいしいものが食べられるようになるとよいと思います。

あと、スポーツでいっても浦和レッズだけじゃなくて、所沢の西武ライオンズもあるし、バスケや卓球、熊谷のラグビー、埼玉栄高等学校の相撲だって結構今、力士出てきています。そういう選手との交流ができるイベントを開催し、他県からも人を呼び込んだり、東京2020大会では、バスケットボールやゴルフなど県内の会場で開催された競技でメダルを獲得しているので、それを後々に伝えていくような施設があってもいいのではないのでしょうか。オール埼玉の施設で人を呼び込むということも考えていいのではないかと思います。

### <発言15>

新庁舎整備について、どのような市役所にしたいですかということですが、私は気軽に

立ち寄りたり、用がなくても行けるような市役所にしてほしいです。市役所の場所を私はさっき初めて知りました。多分、家が市役所の近くにない人は高校生や中学生だと知らないと思います。そういう知らない状態だと幾ら防災に強くしたり、帰宅困難者を受け入れますと言ったとしても、場所がわからなかったら行くことができないと思います。場所を知っているか知らないかで、災害が起きた時の自分の対応も変わってくると思います。例えば小さいカフェを市役所の下につくってもらったり、小さい図書館をつくってもらえたら、高校生同士でも友達を誘って気軽に立ち寄ることができるようになると思います。普段から立ち寄ることによって市役所の場所を覚えて、いざ災害が起きたときに、場所を覚えているから、ここに行けば助けてもらえるかもしれないと思えるように、私は市役所を気軽に用がなくても行けるような施設にしてほしいなと思いました。

#### <発言16>

現庁舎地の跡地のことで、先日、隈研吾さんと何かされていたかと思うのですが、それは現庁舎も含めたことなのか聞きたいです。

#### <発言17>

皆さんの意見を聞いて思うのは、いろいろな施設が知られていないということです。例えば浦和区には国際交流センターがありますが、どういう施設なのか知られていません。中央区にもいろいろな国の施設があります。中央区役所の先に東京入国管理局さいたま出張所がありますが、手続きに来て場所がわからなくて困っている外国人の方も見かけます。そういう方は災害のときに、日本語がわからなくて困ってしまうと思います。

だからいろいろな方が利用できるために広報にも力を入れていただきたいです。どうしても今ある施設は敷居が高いです。なかなか入れないというので、その敷居を低くする方法とか活用することも検討していただければと思います。

もう一つ別の話になりますが、高齢化に伴って免許証を返納すると、中央区は区役所に来るバスがないので、高齢者の方は区役所に来られません。ですから、そういうところのインフラも考えていただいて、住みやすいまちというのを目指していただければと思います。

#### <発言18>

とにかくさいたま市の存在感をアップさせてほしいです。京浜東北線の名前に、東北と入っているのはおかしいと思います。これを京浜埼玉線に名前を変えるように是非市長からも働きかけてほしいなと思います。それがさいたま市の存在感アップにつながると思います。

### ◆市長

#### >>発言8

新庁舎については、東日本大震災を踏まえて防災機能を強化してほしいということで、特に帰宅困難者を受け入れられるとか、トイレの対応ができるとか、そういった防災に対応できる機能をしっかり整備をしてほしい、また、現庁舎地の利活用については、市民ギャラリー、前のトルーカの鐘も含まれるでしょうか、その機能については少し拡張して残したらどうかという御意見を頂戴しました。

さいたま新都心は、首都圏広域地方計画の中では首都機能のバックアップ拠点という位置づけをされています。政令指定都市になりまして、もちろん県との連携というのも重要なのですが、国との連携をするという機会も大分増えてまいりましたので、そういう意味では国の首都直下地震が起こった際のバックアップ機能という役割も併せて果たしていかなくてはならないと思っています。市民を災害から守るということと、首都圏全体のバックアップをしていくということと両方兼ね備えていく必要があるんだろうなと思っています。



す。

## >> 発言 9

アフターコロナのオフィスの在り方について十分検討した方がいいだろうという御意見を頂戴しました。また、本庁舎と区役所の移動を見ていると、車で移動されている人が多いので、シェアサイクルとかシャトルバスとか、移動手段についても環境に優しい移動を考えるなど、スマート都市づくりを進めていく必要があるという御意見を頂戴したところです。

私たちとしても基礎自治体で市民と接することが多いのですが、アフターコロナのオフィスの在り方として、リモートワークやデジタル化も含めてこれから働き方改革をしっかり進めていこうと考えています。民間企業の本社の機能の在り方が大分変わってきているということもあります。私たちもそういったことなどを十分に配慮しながら考えていかなくてはならない、対応していかなくてはならないと思っています。今後整備するまでには、またさらに精査をしていきたいと思っていますし、またその変化にも対応できるようにもしていく必要があると思っています。

また、移動手段については、ちょうど今、さいたま新都心エリアや大宮を中心にシェアサイクルやスクーター、それから小型の電気自動車等によるシェア型マルチモビリティの実証実験をしています。さいたま市としては、将来的には移動手段としてできるだけ公共交通を使っていただけるような環境をつくっていききたいとも思っております。移動しやすいということは社会に参加ができるということになると思いますので、今後、公共交通の部門と連携をしながら、環境に優しい、高齢者も含めて移動しやすい、そういった部分についてはしっかり強化をしていきたいと思っています。

## >> 発言 10

新庁舎については、行政の関連施設は集中させた方が来る方からすると便利になるのではないかという御提案をいただきました。また、役所に来たときに、自分が聞きたいことがどの場所なのかが非常にわかりづらいという御指摘もいただきました。

市民の皆さんが聞きたいこと、相談をしたいこと、手続きをしたいことがどこに行けば済ませられるのかをわかりやすくしていくことは、本当に重要なことだと思います。できるだけ市民の皆さんや事業者の皆さんにとっても、使いやすい市役所にしていかなければならないと思います。

それから、現庁舎地については防災関係として活用したらどうか、帰宅困難者や、様々な備蓄倉庫のようなものであったり、テレワークなどができるような施設なども必要ではないか、という御提案をいただきました。

## >> 発言 11

新庁舎については外国人の方々も使いやすいような施設にしてほしいとのお話がありました。手続きに行くのにアクセスをしやすく、手続きの際も言語の対応がしっかりできる場所にしてほしいということでした。

これは新庁舎はもちろんですが、区役所も含めて外国人の方々にもしっかりわかりやすく対応できる施設、取組をしていかなければならないと思っています。

## >> 発言 12

日本の将来の人材を育成していけるような拠点をつくったらどうかということでした。

埼玉は非常にたくさんの人材を輩出している県ではあると思います。もちろん地元で活躍される方もいらっしゃるし、東京まで非常に近いということもあって、東京をはじめ他の地域でも活躍されている方はたくさんいらっしゃると思います。そんな比較的利便性の高い場所でもあるし、教育に対する意識が非常に高い都市でもあります。政令指定都市の

中では学力も高く、夢や希望を持っている子どもたちも多い地域でもありますので、私たちとしてもそういった子どもたちや人材がしっかり輩出できるような機能を持った施設ということも、特に現庁舎地の活用については考慮していきたいと思えます。

### >> 発言 13

全部の機能が区役所の相互乗り入れができていないのではないかと御指摘でした。現状ではおっしゃるとおりです。本庁舎と区役所の役割分担ということでは、市民に身近なサービスについてはできるだけ区役所で行い、スケールメリットを生かしながらやっていくようなものについてはできるだけ本庁舎で集中的に、効率的にやっていくことが重要だと考えています。

区役所間の相互乗り入れについては、できるだけそれぞれの分野で可能な状況をつくっていけるように、検討していきたいと思えます。

それから、期日前投票について言いますと、商業施設など区役所以外の幾つかの投票所では、複数の区の方々が投票できるようにはなっていますが、ただまだ全部ではないと思えます。いずれにしても、区の相互乗り入れというようなことも、今後の一つのテーマとして私も考えていきたいと思えます。

### >> 発言 14

とにかくさいたま市の存在感をアップしてほしいということで、県都でもあるので、オール埼玉の施設があったらいいのではないかと御提案がありました。スポーツや食べ物を含めて検討してみてもどうかという御指摘でした。

まさに県都でもありますので、そういった視点も本当に必要だと考えています。

### >> 発言 15

高校生や中学生、若い世代の皆さんも気軽に行けるような市役所にしてほしいという御意見を頂戴しました。

市民の皆さんから遠い存在であると、本庁舎をつくっても意味がないと思えますので、そういった視点は非常に大切だと考えています。

### >> 発言 16

浦和のまちづくりの関係で隈研吾さんとどのようなことをしているのかという御質問でした。今、浦和駅周辺のまちづくり、庁舎だけではなく、もう少し幅広いエリアのまちづくりについて考えていこうということで、隈さんが有識者懇話会の会長になっていただいて検討を進めています。自然を生かしながら、また地域のいろいろな特性を生かしながらまちづくりを考えていくという方であるので、私たちとしては隈さんにいろいろ御意見を頂戴して、まとめ役になっていただこうということで、進めているところです。

### >> 発言 17

現状としてもいろいろな施設があるが、どこにどういう施設があって、どんなことが行われているのか、市民にまだわかっていない方々もたくさんいらっしゃるのでは、しっかり広報にも力を入れてほしいという御意見を頂戴しました。

国の機関も含めていろいろな施設がさいたま市内、特に大宮駅、さいたま新都心駅、浦和駅周辺、またそれ以外にも中央区辺りにはたくさんありますので、それらの施設がどう使われているのか、どんな仕事をしているのか、わかりやすくお知らせをしていきたいと思えます。

また、高齢化時代の中であり、交通アクセスの問題、バスを含めたアクセスを十分配慮してやっていただきたいという御意見でした。

これも先ほども申し上げましたとおり、私たちも高齢化社会になってきたときの移動手

段を確保するという事は、すごく重要だと思っています。今までは市のバスなども運営してまいりましたが、できるだけ公共交通であったり、身近な移動手段も含めてできるだけつなぎ目なく移動ができる、誰でも移動しやすい環境をつくっていきたいという思いで、今、様々な検討、実証実験をやっているところです。電車、バス、それからタクシーもそうですし、先ほど言いましたが、さいたま市はシェアサイクルの拠点をコンビニエンスストアや市の公有地を使って設置しており、全国でもトップクラスの利用率にもなっています。

そういったシェアサイクル、スクーター、それから小型の2人乗りぐらいの電気自動車、こういったものを活用していかうとか、いろいろなやり方を考えながら、進めています。また、どうすれば移動しやすいかといったアプリのような仕組みを使い、環境にいい移動手段であるとか、健康にいい移動手段であるとか、いろいろな選択肢の中から選んでいけるような仕組みができればということで、実証実験を行ったり、検討を進めているところです。

公共施設の周辺にできるだけアクセスがしやすい環境をつくっていきたいと思っています。

## >> 発言 18

京浜東北線の名前の御意見も出ましたので、またJRにもお話をしてみたいと思います。

今日もたくさんの方から御意見を頂戴しました。コストの部分で御心配な方もいらっしゃるの事実だと思います。これから少子高齢化が進んでいき、10年後には人口減少が始まるということを私たちも十分踏まえていますので、華美なもの、大きなものではなく、できるだけコンパクトで、でもしっかり機能が果たせることを前提に進めていきたいと思っています。民間の活力を活用しながらPFIであるとかPPPなども取り入れながら、できるだけ金額を低く抑えられるように、今後努力をしながら進めていきたいと思っています。

また、高齢化時代の中、これから大きな災害が起こるといことも想定されている中で、役割を皆さんが大変期待されているということもわかります。また今後の新庁舎については、働き方改革であるとかデジタル化であるとかそういったことも十分考慮してほしいということも改めて御指摘をいただいたとも思っていますので、そういったことを踏まえながら今後進めさせていただきたいと思っています。

今日これで終了ということになりますが、まだ言い足りなかったところなどについては、現在パブリック・コメントも行っていますので、是非御意見を頂戴できればありがたいと思っています。また、詳細な基本構想の中身についても、ホームページに掲載をしていますので、是非御覧ください。また、こういった整備をするということになりますと期間がかかりますので、皆さんの声を聞きながら、しっかりと一歩一歩前に進めていきながら、市民の皆さんに愛される市役所、市庁舎をつくっていきたくとも思っていますし、併せてこれからの時代に対応できるそういった市庁舎にしていきたくともこのように思っています。

今日は、長時間にわたりまして皆さんから御意見を頂戴することができました。本当にありがとうございました。また引き続きよろしく願いいたします。

## ■ 補足説明

「シェア型マルチモビリティの実証実験」について

シェア型マルチモビリティの実証実験は、大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区において令和3年3月より開始したところであり、他のエリアへも順次拡大を行っているところです。

(都市局 都市計画部 都市総務課)

「居住区以外の住民でも投票できる期日前投票所の設置」について

例えばイオンモール与野のように、複数の行政区の選挙管理委員会がそれぞれの期日前投票所を同じ施設内に開設することは可能です。この場合、区ごとに期日前投票所を開設する十分なスペースを確保する必要があります。

(選挙管理委員会事務局 選挙課)

「中央区役所へ行くための交通手段」について

令和3年9月1日より、桜区大久保・中央区西与野地区乗合タクシーの運行が開始されており、中央区役所にも乗り入れております。日常の足として、ご利用いただければと思います。

(都市局 都市計画部 交通政策課)